

東墨田・立花・文花地域のまちづくり検討図



まちづくりの提案

第1回まとめ

- 資源と活かし方
 - ①旧中川に行きやすくする
 - ②香取神社を地域の接点に
 - ③地域内事業所とつながる

- 課題と解決のアイデア
 - ①身近なスポーツの場づくり
 - ②木造住宅密集地域の空き家活用
 - ③まちの変化に対して動線のコントロールを

まちづくりの重要テーマの提案（第2回まとめ）

●まちなかと旧中川の水辺をつなぐ歩きやすい道づくり

- ・今ある道を活かして、歩車共存の歩きやすい道づくり
- ・アイストップやサイン整備の工夫で旧中川につなぐ魅力づくり
- ・事業所から住宅に建て替わる時に、コミュニティに開く屋外整備で、歩いて気持ち良い、コミュニケーションできる道沿いの緑づくり
- ・地元の建築士が協力してコンテストやモデルづくりをする

●技術と知の交流による住工共存の魅力をを見せていくまちづくり

- ・事業所で何を作っているかがわかる事業所の看板づくりからギャラリー展開へ
- ・まちなかを歩いて見つける楽しみをつくる
- ・昔からの良さを削がないように、統一しない、少しずつ広げていく
- ・起業のための斡旋や相談を（全区的に）
- ・大学もキャンパス内にこもるのではなく、地域に出ていく

●遊び場やスポーツの場づくりから地域で子育てまちづくり

- ・子どもが遊んでいない公園や画一化された小規模な公園を、みんなで魅力づくりをする
- ・スポーツで大人と子供、地域住民と事業所が交流し、地域で子育てを支える、子どもが暮らしやすいまちにする。
- ・事業所の共有スペースを地域に開いてもらう



協働で進めたいまちづくり

テーマ案 ●住工共存の魅力をさせていくための地域の応援団づくり

- ・今ある事業所を残すこと、活かすことから始めていく
- ・閉鎖的な工場を開いていくこと、見せることのメリットの共通理解をすることから始め、ゆくゆくはエリアマネジメントのような展開につなげる
- ・工場見学を受け入れて、工場が地域に開いていけるように、地域で作り手をほめたたえる応援団になることから始めていく
- ・まちに関わりたい学生と事業者との接点をつくる仕組みをつくる
- ・空家を使った学生の住まいづくり、工場で研究など
- ・大学が空家や工場を借りて地域に入るなど。区にもサポートをいただきたい

